

令和8年2月吉日

関係各位

鎌倉市在宅医療・介護連携相談センター センター長 宮下 明  
鎌倉市介護保険課長 鈴木 智大

## 令和7年度多職種研修会の開催のお知らせ

陽春の候、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

当センターでは、以前より災害時の対応を考え、利用者の安否確認や、発災後も継続した医療、看護、介護ケアが提供できる体制づくりを目指し、各事業所、職能団体と協力し協議してきました。

このたび、被災地での支援経験が豊富な訪問看護師をスーパーバイザーとしてお迎えし、事業所、職能団体として何を準備すべきか、「多職種連携」による災害対策の必要性など、貴重な体験談を交えながら、実践的なヒントをお伺いする機会を得ることができました。

年度末のご多忙な折とは存じますが、鎌倉市とともに多職種研修会を開催する運びとなりましたので、共に学びを深める機会にできれば幸いです。皆様のご参加を心よりお待ちしております。

### 【問い合わせ】

鎌倉市在宅医療・介護連携相談センター  
〒248-0013 鎌倉市材木座 3-5-35  
地域医療センター3 階  
電話：0467-81-3597（平日 9:00-17:00）  
FAX：0467-81-3695

R7年度多職種研修会のお知らせ（対面研修）

## 地域BCPのススメ

～スタッフ、患者・利用者、そして住民のいのちと暮らしを守るために～

近年、各地での地震発生や記録的な大寒波の襲来、さらには南海トラフ地震や富士山噴火の予測など、私たちは常に災害への緊張感の中にいます。皆様の事業所や団体でも、「その時、どう動く」を自問自答されているのではないのでしょうか。

「災害対策は平時の備え」と言われ、平時から顔の見える関係を築き、考え続けることこそが、発災時、そしてその後の復興期において、何よりも強い力となります。今回の研修会では、被災地での支援経験が豊富な訪問看護師のスーパーバイザーをお招きし、事業所として、また職能団体として何を準備すべきか、なぜ今「多職種連携」による災害対策が必要なのかを貴重な体験談を交えながら、実践的なヒントをお話しいただきます。年度末のご多忙な折とは存じますが、共に学びを深める機会にできれば幸いです。

皆様のご参加を心よりお待ちしております。



2026年3月19日(木)

18:30～20:30

\*開場時間：18:15



**山岸 暁美 氏**

慶應義塾大学医学部 衛生学公衆衛生学教室  
コミュニティヘルス研究機構 理事長

日赤医療センター勤務後、海外勤務、訪問看護ST勤務/経営を経て、厚労省入省。在宅医療専門官として、災害対応や在宅医療連携拠点事業、報酬改定等に携わる。2016年より現職。また厚労省BCP専門家委員会委員長、内閣府デジタル田園健康特区PMO等を担う。

会場

鎌倉芸術館 3階集会室（神奈川県鎌倉市大船6-1-2）

対象

鎌倉市内医療・介護・福祉関係者・行政職員など

申込

定員に達し次第、締め切らせていただきます。  
お早めにお申し込みください。

\*申込締切：3月16日(月)必着

\*方法：

① QRコード：右記QRコードよりお申し込みください。

※複数名参加される場合はお一人ずつお申し込みください。

② お電話：0467-81-3597（平日9:00-17:00）まで  
ご連絡ください。

定員

100名  
先着順



お問合せ

鎌倉市在宅医療・介護連携相談センター TEL：0467-81-3597（平日9:00～17:00）

主催：鎌倉市役所 / 鎌倉市在宅医療・介護連携相談センター  
協力：鎌倉訪問看護連合会